

CASBEE-建築(新築)2014年版
鳥取城北高等学校校舎・体育館耐震改築工事

欄に数値またはコメントを記入

 ■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.3
Q1 室内環境			0.40		-	3.3
1 音環境		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		3.4	0.35	-	-	3.4
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.60	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御	調湿空調装置を採用し湿度コントロールを行っている。	5.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.1	0.25	-	-	3.1
3.1 昼光利用		3.4	0.30	-	-	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-	
3 昼光利用設備	太陽光採光装置を設置した	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		3.7	0.25	-	-	3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	建築基準法規制対象外及びF☆☆☆☆以上の建材を使用している	4.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	高等学校のため敷地内全面禁煙としている	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.3
1 機能性		3.5	0.40	-	-	3.5
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法は全てクリアした仕様としている	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.50	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		3.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	動線部には段差を設けないようスロープ・昇降機を設置している	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性		3.0	0.20			
1	空調・換気設備	3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	3.0	0.20			
3	電気設備	3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法	3.0	0.20			
5	通信・情報設備	3.0	0.20			
3 対応性・更新性		3.3	0.30			3.3
3.1 空間のゆとり		4.2	0.30			
1	階高のゆとり	5.0	0.60	1.0		
2	空間の形状・自由さ	3.0	0.40	3.0		
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	1.0		
3.3 設備の更新性		3.0	0.40			
1	空調配管の更新性	3.0	0.20			
2	給排水管の更新性	3.0	0.20			
3	電気配線の更新性	3.0	0.10			
4	通信配線の更新性	3.0	0.10			
5	設備機器の更新性	3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)		—	0.30			3.3
1	生物環境の保全と創出	3.0	0.30			3.0
2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40			3.0
3	地域性・アメニティへの配慮	4.0	0.30			4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	5.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性		—	—			3.5
LR1 エネルギー		—	0.40			3.8
1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.20			4.0
2	自然エネルギー利用	4.0	0.10			4.0
3	設備システムの高効率化	4.0	0.50			4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	4.0	1.00			
	集合住宅の評価(3c)	—	—			
4 効率的運用		3.0	0.20			3.0
	集合住宅以外の評価	3.0	1.00			
4.1	モニタリング	3.0	0.50			
4.2	運用管理体制	3.0	0.50			
	集合住宅の評価	—	—			
4.1	モニタリング	3.0	—			
4.2	運用管理体制	3.0	—			
LR2 資源・マテリアル		—	0.30			3.4
1 水資源保護		3.4	0.20			3.4
1.1	節水	4.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減		3.4	0.60			3.4
2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	5.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.8	0.20			3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	5.0	0.30			
3.2	フロン・ハロンの回避	3.3	0.70			
1	消火剤	4.0	0.33			
2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.33			
3	冷媒	3.0	0.33			
LR3 敷地外環境		—	0.30			3.2
1	地球温暖化への配慮	3.2	0.33			3.2
2	地域環境への配慮	3.1	0.33			3.1
2.1	大気汚染防止	3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制	3.5	0.25			
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	5.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮		3.4	0.33			3.4
3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40			
1	騒音	3.0	0.33			
2	振動	3.0	0.33			
3	悪臭	3.0	0.33			
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制	3.4	0.40			
1	風害の抑制	3.0	0.60			
2	砂塵の抑制	5.0	0.20			
3	日照阻害の抑制	3.0	0.20			
3.3	光害の抑制	4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70			
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30			